

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MSC TECHNICAL NEWS

No.M720-46-9210

OSDコントローラ X'tal発振停止の注意事項

1. 対応品種

M50458-XXXSP/FP M35030-XXXSP M35031-XXXFP
M35010-XXXSP M35011-XXXSP M35012-XXXSP*
M35013-XXXSP* M35014-XXXSP M35015-XXXSP*

* は開発中

2. 注意事項

水晶発振子の発振開始直後は、発振が不安定なため、OSDコントローラの動作を保証できません。
以下のように、発振安定時間を生成することにより、OSDコントローラは正常に動作します。

X'tal発振停止時に、外部同期から内部同期に切り替える場合

まずX'tal発振を開始し、1V_{sync} (NTSC方式.....約16.7ms、PAL方式.....約20ms) 以上後に内部同期に切り替えてください(フロー1参照)。

内部同期時に、X'tal発振停止状態から発振を開始した場合

X'tal発振を開始後、1V_{sync} (NTSC方式.....約16.7ms、PAL方式.....約20ms) 以上後に次の命令を送信してください(フロー2参照)。

X'tal発振は、内部レジスタSTOPINで制御します。

(“1”.....発振停止 “0”.....発振開始)

外部同期と内部同期の切り替えは、EXレジスタで行います。

(“0”.....外部同期 “1”.....内部同期)

以下のフローチャートを参考にして、命令を送信してください。

フロー1

EXレジスタ = “0” (外部同期)
STOPINレジスタ = “1” (X'tal発振停止)

EXレジスタ = “0” (外部同期)
STOPINレジスタ = “0” (X'tal発振開始)

1V_{sync} (NTSC方式.....約16.7ms、
PAL方式.....約20ms) ホールド(注)

EXレジスタ = “1” (内部同期)
STOPINレジスタ = “0” (X'tal発振)

(注) 外部同期から内部同期への切り替え
以外の命令の送信は可能。

フロー2

EXレジスタ = “0” (外部同期)
STOPINレジスタ = “1” (X'tal発振停止)

EXレジスタ = “1” (内部同期)
STOPINレジスタ = “1” (X'tal発振停止)

EXレジスタ = “1” (内部同期)
STOPINレジスタ = “0” (X'tal発振開始)

1V_{sync} (NTSC方式.....約16.7ms、PAL方式.....約
20ms) ホールド(命令を送信しないこと)

EXレジスタ = “1” (内部同期)
STOPINレジスタ = “0” (X'tal発振)

外部同期から内部同期に切り替える際に発生するページめくれ現象を緩和するためには、フロー1で設定してください。